

＜実地での検証＞

- 静岡地区の東海道線・御殿場線・身延線の踏切(各線区3踏切ずつ、合計9踏切)に、レントの特許技術を活用して再生した鉛蓄電池を設置しました。
(2023年6月に設置完了)
- 鉛蓄電池に対する、実際の使用状況や設置環境が与える影響を検証します。



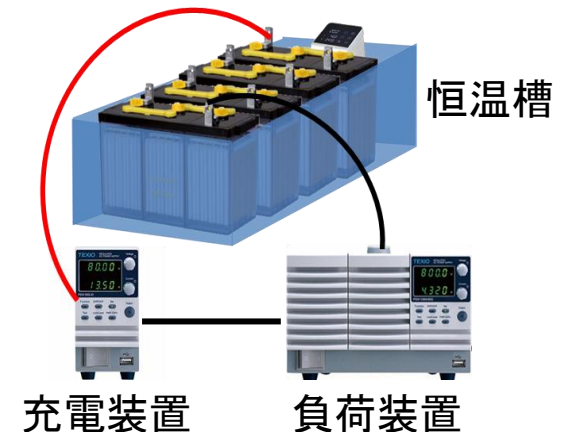
実地での検証の様子
(電圧値を常時監視)

＜耐久性の検証＞

- レントの工場内で、劣化を加速させる耐用試験を実施し、再生した鉛蓄電池の耐久性を検証します。
- 耐用試験では、再生した鉛蓄電池を恒温槽※¹に入れ、劣化が進みやすい高温の環境※²にしたり、鉛蓄電池に停電時の負荷をかけるなどして、鉛蓄電池の劣化度合いを評価します。

※1 恒温槽＝温度を一定に保てるようにした容器

※2 60℃状態を保つことで1年分の劣化を1か月に短縮



加速劣化試験のイメージ